



Bulk Trace Analysis

Cisco Bulk Trace Analysis ツールは、Serviceability に付属のプラグイン ソフトウェア アプリケーションです。このツールは、1 つまたは複数の大きな（2MB を超える）XML トレース ファイルから入力データを取り出し、トレース データの分析に使用できるレポートを作成します。

この章の構成は、次のとおりです。

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)

始める前に

Bulk Trace Analysis は、XML トレース ファイルを入力ファイルとして使用します。XML トレース ファイルを生成するには、Trace ツールを使用してください。XML トレース ファイルについては、次の章を参照してください。

- [トレースの設定 \(P.5-1\)](#)
- [トレース収集の設定 \(P.6-1\)](#)
- [トレース分析の設定 \(P.7-1\)](#)

Bulk Trace Analysis のダウンロード

Bulk Trace Analysis ツールを Serviceability からダウンロードし、クライアント PC にインストールします。

ここでは、Bulk Trace Analysis ツールのダウンロード方法を説明します。

手順

ステップ 1 Serviceability ウィンドウから、**Application > Install Plugins** の順に選択します。

Serviceability Install Plugins ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Bulk Trace Analysis アイコンをクリックします。

ステップ 3 ウィンドウで、**Save the program to disk** を選択します。

ステップ 4 Bulk Trace Analysis プログラムの保存先のファイル名と場所を入力します。

ステップ 5 **OK** ボタンをクリックします。

関連項目

- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)

Bulk Trace Analysis プログラムのインストール

プラグインが Serviceability プログラムからダウンロードされたら、Bulk Trace Analysis プログラムを PC にインストールします。

ここでは、Bulk Trace Analysis プログラムをクライアント PC にインストールする方法を説明します。

手順

ステップ 1 PC で、Bulk Trace Analysis アイコンまたはファイル名 TraceAnalysis_installation.exe をダブルクリックします。

インストールウィザードウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表示されるウィンドウで **Next >** ボタンをクリックします。

ステップ 3 **Finish** ボタンをクリックします。

これで、インストールされたプログラムが使用できるようになりました。

関連項目

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)

Bulk Trace Analysis の使用

Bulk Trace Analysis は、1 つまたは複数の SDI XML トレース ファイルまたは SDL XML トレース ファイルを取り出し、トレース データの分析に使用できるレポートを作成します。Bulk Trace Analysis では、次のレポート機能がサポートされています。

- プログラムの起動と終了
- レポートの作成
- レポートのオープン
- レポートの印刷
- マスタ レポートの保存
- レポート内のデータの検索
- 複数ビューを持つレポートの作成
- ビュー情報の表示
- Report Table 見出しのカスタマイズ

始める前に

Bulk Trace Analysis プログラムは、Cisco CallManager パブリッシュ システムまたはサブスクライバ システム以外の PC にインストールする必要があります。P.24-2 の「Bulk Trace Analysis のダウンロード」および P.24-3 の「Bulk Trace Analysis プログラムのインストール」を参照してください。

PC 上でこのプログラムが起動され、実行中であることを確認してください。P.24-4 の「プログラムの起動と終了」を参照してください。

プログラムの起動と終了

ここでは、Bulk Trace Analysis プログラムの起動および終了の方法を説明します。

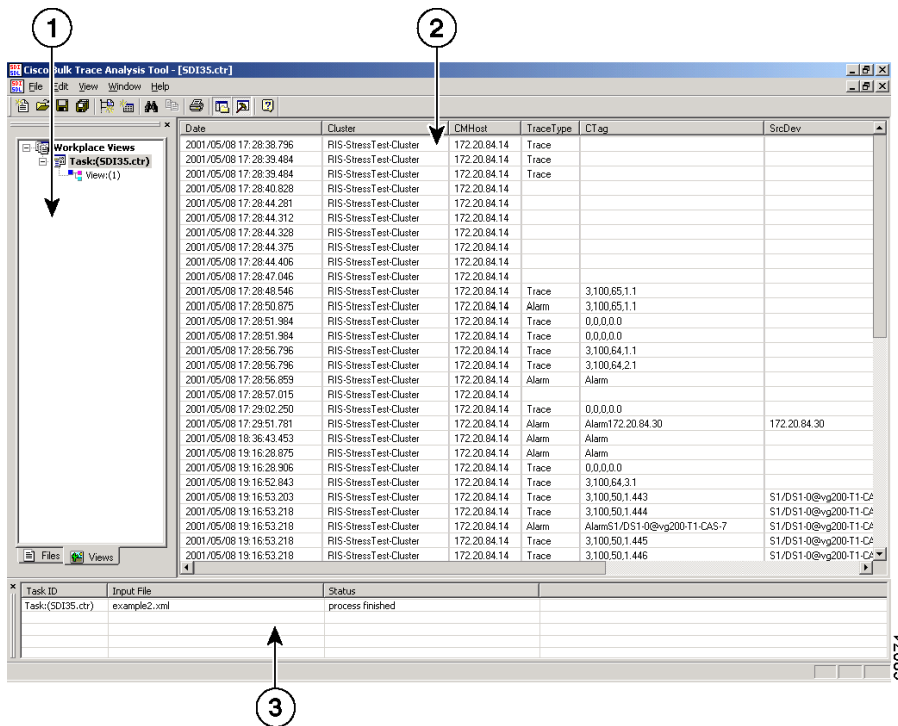
ステップ 1 [スタート] > [プログラム] > **Cisco Bulk Trace Analysis Tool** の順に選択します。

Bulk Trace Analysis Tool ウィンドウが表示されます。図 24-1 を参照してください。

ステップ 2 この項で説明されている手順に従って、レポートの作成、レポートのオープン、およびレポートの印刷を行います。

ステップ 3 **File > Exit** の順に選択して、プログラムを終了します。

図 24-1 Bulk Trace Analysis ウィンドウ



1	Workplace
2	Report Table
3	Task Control and Status

関連項目

- レポートの作成 (P.24-6)
- レポートのオープン (P.24-9)
- レポートの印刷 (P.24-10)
- マスタ レポートの保存 (P.24-11)
- レポート内のデータの検索 (P.24-12)
- 複数ビューを持つレポートの作成 (P.24-13)
- ビュー情報の表示 (P.24-17)
- Report Table 見出しのカスタマイズ (P.24-18)

レポートの作成

Bulk Trace Analysis では、SDI XML トレース ファイルまたは SDL XML トレース ファイルを使用してレポートが作成されます。次の入力トレース ファイルを使用してレポートを作成します。

- Bulk Trace Analysis プログラムの File Open ダイアログ ウィンドウで、Ctrl キーを押したまま複数のファイル名を選択して、複数の XML ファイルを選択する。
- Bulk Trace Analysis プログラムの File Open ダイアログ ウィンドウにリモート Cisco CallManager ノードの IP アドレスを入力して、そのノードからファイルを選択する。ユーザ ID とパスワードを使用する必要があります。
- Cisco CallManager Serviceability から、Trace Collection ツールを使用して収集された zip ファイルを選択する。



注意

Bulk Trace Analysis プログラムは、オリジナルの XML トレース ファイル、または Trace Collection ツールが zip 圧縮したトレース ファイルしか受け入れられません。他のアプリケーション（たとえば、WinZip）によって zip 圧縮されたトレース ファイルを使用すると、Cisco CallManager システムの動作が停止する可能性があります。

手順

ここでは、トレース ファイルからレポートを作成する方法を説明します。

ステップ 1 Bulk Trace Analysis ウィンドウから、**File > New Report** の順に選択します。

New File ダイアログ ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 SDI トレース ファイルを選択する場合は、**SDI** ボタンをクリックします。SDL トレース ファイルを選択する場合は、**SDL** ボタンをクリックします。

ステップ 3 **Browse** ボタンをクリックして、トレース ソース ファイルを選択します。

Open ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 ファイルのリストから、ソース トレース ファイルを選択します。

ステップ 5 **Open** ボタンをクリックします。

New File ダイアログ ウィンドウが表示され、選択したファイルが Source File フィールドに表示されます。複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押したままファイル名をクリックします。

ステップ 6 Save Report As フィールドに表示されたデフォルトのファイル名を使用してレポートを保存するには、**OK** ボタンをクリックします。[ステップ 10](#)に進みます。デフォルトのファイル名を使用しない場合は、[ステップ 7](#)に進みます。

ステップ 7 別のファイル名を使用してレポートを保存するには、**Browse** ボタンをクリックします。

ステップ 8 Save As ウィンドウで、ファイル名のフィールドにファイル名を入力するか、デフォルトを使用します。

■ Bulk Trace Analysis の使用

ステップ 9 Save ボタンをクリックします。

New File ダイアログ ウィンドウが表示され、選択したファイル名が Save Report As フィールドに表示されます。

ステップ 10 OK ボタンをクリックします。

ソース ファイルのデータは、Report Table ペインに表示されます。レポート名は Workplace Views ペインに、レポートの状況は Task Control and Status ペインに表示されます。図 24-1 を参照してください。

ステップ 11 レポートを保存するには、File > Save の順に選択します。

ステップ 12 Save ボタンをクリックします。

関連項目

- Bulk Trace Analysis のダウンロード (P.24-2)
- Bulk Trace Analysis プログラムのインストール (P.24-3)
- Bulk Trace Analysis の使用 (P.24-4)
- プログラムの起動と終了 (P.24-4)
- レポートのオープン (P.24-9)
- レポートの印刷 (P.24-10)
- マスタ レポートの保存 (P.24-11)
- レポート内のデータの検索 (P.24-12)
- 複数ビューを持つレポートの作成 (P.24-13)
- ビュー情報の表示 (P.24-17)
- Report Table 見出しのカスタマイズ (P.24-18)

レポートのオープン

ここでは、すでに作成されているレポートを開く方法を説明します。P.24-6 の「レポートの作成」を参照してください。

手順

ステップ 1 Bulk Trace Analysis ウィンドウから、**File > Open Report** の順に選択します。

Open ダイアログ ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ファイルのリストから、レポート ファイルを選択します。

ステップ 3 **Open** ボタンをクリックします。

ソース ファイルのデータは、**Report Table** ペインに表示されます。レポート名は **Workplace Views** ペインに、レポートの状況は **Task Control and Status** ペインに表示されます。

関連項目

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)
- [プログラムの起動と終了 \(P.24-4\)](#)
- [レポートの作成 \(P.24-6\)](#)
- [レポートの印刷 \(P.24-10\)](#)
- [マスタ レポートの保存 \(P.24-11\)](#)
- [レポート内のデータの検索 \(P.24-12\)](#)
- [複数ビューを持つレポートの作成 \(P.24-13\)](#)
- [ビュー情報の表示 \(P.24-17\)](#)
- [Report Table 見出しのカスタマイズ \(P.24-18\)](#)

レポートの印刷

ここでは、レポートの印刷方法を説明します。

手順

ステップ 1 複数のレポートが開いている場合は、印刷するレポートを選択します。



ヒント レポートの印刷前に、**File > Print Preview** の順に選択してください。

ステップ 2 Bulk Trace Analysis ウィンドウで、**File > Print** の順に選択します。

Print ダイアログ ウィンドウが表示されます。



ヒント 用紙のレイアウトとして **Landscape (横長)** を選択してください。

ステップ 3 **OK** ボタンをクリックします。

関連項目

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)
- [プログラムの起動と終了 \(P.24-4\)](#)
- [レポートの作成 \(P.24-6\)](#)
- [レポートのオープン \(P.24-9\)](#)
- [マスタ レポートの保存 \(P.24-11\)](#)
- [レポート内のデータの検索 \(P.24-12\)](#)
- [複数ビューを持つレポートの作成 \(P.24-13\)](#)

- [ビュー情報の表示 \(P.24-17\)](#)
- [Report Table 見出しのカスタマイズ \(P.24-18\)](#)

マスタ レポートの保存

ここでは、マスタ レポートの保存方法を説明します。マスタ レポートとは、フィルタ基準のないレポートを指します。

手順

-
- ステップ 1** Workplace Views ペインから、保存するレポートを選択します。
 - ステップ 2** **File > Save** の順に選択します。
-

関連項目

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)
- [プログラムの起動と終了 \(P.24-4\)](#)
- [レポートの作成 \(P.24-6\)](#)
- [レポートのオープン \(P.24-9\)](#)
- [レポートの印刷 \(P.24-10\)](#)
- [レポート内のデータの検索 \(P.24-12\)](#)
- [複数ビューを持つレポートの作成 \(P.24-13\)](#)
- [ビュー情報の表示 \(P.24-17\)](#)
- [Report Table 見出しのカスタマイズ \(P.24-18\)](#)

レポート内のデータの検索

ここでは、レポート内のデータ（情報）を検索する方法を説明します。

手順

- ステップ 1** Workplace Views ペインから、検索するレポートを選択します。
- ステップ 2** **Edit > Find** の順に選択するか、双眼鏡のアイコンをクリックします。
- Find ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** 検索基準（たとえば、Alarm）を入力します。
- ステップ 4** 表 24-1 を参考にして、その他の検索オプションを選択します。

表 24-1 検索オプション

オプション	説明
Match case	検索基準の文字（大文字と小文字も区別）と正確に一致するファイルを検索します。
Up Direction	検索基準に基づいて、現在のカーソル位置から上方向にファイルを検索します。
Down Direction	検索基準に基づいて、現在のカーソル位置から下方向にファイルを検索します。

- ステップ 5** **Find Next** ボタンをクリックします。
- 一致が強調表示されます。
- ステップ 6** 再度検索するには、**Find Next** ボタンをクリックします。

ステップ 7 検索が終了したら、**Cancel** ボタンをクリックします。

関連項目

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)
- [プログラムの起動と終了 \(P.24-4\)](#)
- [レポートの作成 \(P.24-6\)](#)
- [レポートのオープン \(P.24-9\)](#)
- [レポートの印刷 \(P.24-10\)](#)
- [マスタ レポートの保存 \(P.24-11\)](#)
- [複数ビューを持つレポートの作成 \(P.24-13\)](#)
- [ビュー情報の表示 \(P.24-17\)](#)
- [Report Table 見出しのカスタマイズ \(P.24-18\)](#)

複数ビューを持つレポートの作成

ビューとは、トラブルシューティングに使用される特定の情報が表示されているレポートを指します。1 つのレポートに複数のビューを表示できます。複数のビューを使用すると、さまざまな観点からトレース情報を調べることができます。

Bulk Trace Analysis フィルタリング基準の設定は、Trace Analysis ツールのフィルタリング基準の設定とほぼ同じです (P.7-1 の「[トレース分析の設定](#)」を参照)。トレース分析に組み込む情報のタイプ (たとえば、ホスト名、IP アドレス、関連タグ) を選択できます。

関連タグのフィルタリングを選択すると、関連タグのフィルタリングを選択しない場合よりも多くの情報が得られます。関連タグのフィルタリングでは、トレース相互間の関係が示されます。以下の例を参照してください。

関連タグを使用した例

トレース ファイルで、ユーザは Use Correlation Tag チェックボックスをオンにし、IP Address=172.21.10.55 および Trace type=Alarm のフィルタを選択するものとします。Bulk Trace Analysis は、この IP アドレスとトレース タイプを持つすべてのトレース レコードを探し、そのトレース レコードに関連した関連タグを持つすべてのトレース レコードを収集します。関連タグは、検出されたすべてのトレース レコードに適用され、再度フィルタに掛けられます。トレース フィルタは、次のレコードを検出します。

- レコード 1 : IP Address=172.21.10.55, Trace type=Alarm, Ctag=3,65,100,1.1
- レコード 2 : IP Address=172.21.10.55, Trace type=Error, Ctag=3,65,100,1.1
- レコード 3 : IP Address=172.21.10.56, Trace type=Alarm, Ctag=3,65,100,1.1
- レコード 4 : IP Address=172.21.10.57, Trace type=Trace, Ctag=3,65,100,1.3

Use Correlation Tag チェックボックスがオンになっているので、ビューには、レコード 1、レコード 2、およびレコード 3 が表示されます。

関連タグを使用しない例

トレース ファイルで、ユーザは、Use Correlation Tag チェックボックスをオンにしないものとします。ユーザは、IP Address=172.21.10.55 および Trace type=Alarm のフィルタを選択します。Bulk Trace Analysis は、この IP アドレスとトレース タイプを持つすべてのトレース レコードを探し、そのトレース レコードに関連した関連タグを持つすべてのトレース レコードを収集します。関連タグは、検出されたすべてのトレース レコードに適用され、再度フィルタに掛けられます。トレース フィルタは、次のレコードを検出します。

- レコード 1 : IP Address=172.21.10.55, Trace type=Alarm, Ctag=3,65,100,1.1
- レコード 2 : IP Address=172.21.10.55, Trace type=Error, Ctag=3,65,100,1.1
- レコード 3 : IP Address=172.21.10.56, Trace type=Alarm, Ctag=3,65,100,1.1
- レコード 4 : IP Address=172.21.10.57, Trace type=Trace, Ctag=3,65,100,1.3

Use Correlation Tag チェックボックスがオンになっていないので、ビューにはレコード 1 だけが表示されます。

ここでは、フィルタ基準を選択し、別のビューとして保存することによって、特定情報が入っているレポートを作成する方法を説明します。

手順

- ステップ 1** Workplace Views ペインから、別のビューを作成する対象のレポートを選択します。
- ステップ 2** **View > New View** の順に選択し、レポート名を右クリックするか、New View アイコンをクリックします。
- Filter ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** トレース レコードの CTag フィールドを使用する場合は、Use Correlation Tag チェックボックスをオンにします。P.24-14 の「[関連タグを使用した例](#)」を参照してください。
- ステップ 4** Selection Criteria 領域で、新しいビューに組み込む情報を選択します。表 24-2 を参照してください。

表 24-2 選択基準

オプション	説明
Use Correlation Tag	選択した選択基準に関連するすべてのトレース レコードをビューに含める場合は、このチェックボックスをオンにします。
CallManager Host (CCM)	トレースが開始された特定のホストを選択するか、すべてのホストを選択します。
Source Device (SrcDev)	トレースが作成された特定のデバイスを選択するか、すべてのデバイスを選択します。
Source IP Address (SrcIP)	トレースが作成されたデバイスの特定の IP アドレスを選択するか、すべての IP アドレスを選択します。
Trace Type	トレースが開始されたアラームまたはエラー、アラームのみ、またはトレースのみなどの、トレースタイプを選択します。

■ Bulk Trace Analysis の使用

ステップ 5 Time 領域で、特定の時刻と日付の範囲を選択します。

ステップ 6 OK ボタンをクリックします。

指定された基準に合うビューが、Report Table ペインに表示され、新しいビューの名前（たとえば、View 2）が、Workplace Views ペインの Task 名の下に表示されます。



ヒント

レポートにビューを表示しない場合は、Windows のクローズ ボックスを使用してビューを閉じてください。

関連項目

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)
- [プログラムの起動と終了 \(P.24-4\)](#)
- [レポートの作成 \(P.24-6\)](#)
- [レポートのオープン \(P.24-9\)](#)
- [レポートの印刷 \(P.24-10\)](#)
- [マスタ レポートの保存 \(P.24-11\)](#)
- [レポート内のデータの検索 \(P.24-12\)](#)
- [ビュー情報の表示 \(P.24-17\)](#)
- [Report Table 見出しのカスタマイズ \(P.24-18\)](#)

ビュー情報の表示

特定のビューのフィルタ情報を検出する必要がある場合は、その情報を表示できます。ここでは、ビューのフィルタ情報を表示する方法を説明します。

手順

ステップ 1 Workplace Views ペインから、フィルタ情報を表示する対象のビューを選択します。

フィルタ情報ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ビュー名を右クリックします。

ステップ 3 ポップアップメニューから View Information を選択します。

ステップ 4 OK ボタンをクリックして閉じます。

関連項目

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)
- [プログラムの起動と終了 \(P.24-4\)](#)
- [レポートの作成 \(P.24-6\)](#)
- [レポートのオープン \(P.24-9\)](#)
- [レポートの印刷 \(P.24-10\)](#)
- [レポート内のデータの検索 \(P.24-12\)](#)
- [複数ビューを持つレポートの作成 \(P.24-13\)](#)
- [Report Table 見出しのカスタマイズ \(P.24-18\)](#)

Report Table 見出しのカスタマイズ

レポート内の特定の列の情報を表示する場合には、それ以外の情報の列を削除できます。

ここでは、Report Table の見出しをカスタマイズする方法を説明します。

手順

ステップ 1 Workplace Views ペインから、Report Table 見出しをカスタマイズする対象のレポートまたはビューを選択します。

ステップ 2 **Edit > Customize Header** の順に選択するか、Customize header アイコンをクリックします。

Customize columns ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 列を削除するには、Columns to be shown and order 領域から列を選択します。

ステップ 4 **<- Remove** ボタンをクリックします。

ステップ 5 列の順序を変更するには、Columns to be shown and order 領域から列を選択します。

ステップ 6 **Move Up** ボタンまたは **Move Down** ボタンをクリックします。

ステップ 7 列を追加するには、Columns not shown 領域から列を選択します。

ステップ 8 **Add ->** ボタンをクリックします。

ステップ 9 **OK** ボタンをクリックします。

見出しの配列が更新されたレポートが、Report Table ペインに表示されます。

関連項目

- [Bulk Trace Analysis のダウンロード \(P.24-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis プログラムのインストール \(P.24-3\)](#)
- [Bulk Trace Analysis の使用 \(P.24-4\)](#)
- [プログラムの起動と終了 \(P.24-4\)](#)
- [レポートの作成 \(P.24-6\)](#)
- [レポートのオープン \(P.24-9\)](#)
- [レポートの印刷 \(P.24-10\)](#)
- [マスタ レポートの保存 \(P.24-11\)](#)
- [レポート内のデータの検索 \(P.24-12\)](#)
- [複数ビューを持つレポートの作成 \(P.24-13\)](#)
- [ビュー情報の表示 \(P.24-17\)](#)

■ Bulk Trace Analysis の使用